



PTA会報

蒼天の翼

第30号

PTA 調査広報委員会

2012. 3. 1

題字 小野早百合



それぞれの栄光の架け橋へ



ご挨拶

PTA会長 千葉 喜章

記録的な大寒波に悲鳴をあげる日々が続きましたが、立春も過ぎ日差しに春を感じられる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

震災からもうすぐ一年、当初は災害復旧などで授業や部活への影響も心配しましたが、特にも卒業目前の三年生にとっては大事な一年でしたが、就職希望者の内定は年内に100%を達成、進学組もほぼ決まり、めでたく卒業を迎えられそうです。先生方の熱心なご指導に深く感謝申し上げます。

さて、PTA活動につきましては、今年度は諸般の事情で会費を据え置き、経費節減に努めながら運営してまいりました。緊急連絡やPTAの情報提供の手段として導入したケータイによる連絡網整備は、残念ながら登録が進んでいない状況で、課題は残りましたが、恒例の事業に加え被災地支援募金も行い充実した活動ができたと思います。

沿岸被災地では、休止状態のPTAもあるなかで、ごく普通のことである普通にできることの有難さを感じます。それと同時に、被災地への支援を続けなければならぬという思いを新たにしました。

今後PTAの活動が皆さんによく見えるようにするために、参加の場を開くことと、率直に意見を出し合っより納得性の高い取り組みをすることが大切だと思います。さらなる努力をまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

(三年生の皆さんは、いよいよ卒業ですが、数々の思い出を胸にそれぞれの道を力強く歩んでほしいと思います。そして、いかなる困難があろうとも希望を失わないでいただきたいと思っています。未来に希望を持てるということは生きている証でもあるからです。皆さんのご多幸をお祈り申し上げます。)